

3

Once upon a time, there was a very poor man named Yasuke living in a village.

One night, while Yasuke was taking a rest in bed, he heard a noise that sounded like someone muttering.

"Huh? ...Who is that, at this hour of the night...?"

When Yasuke opened his eyes, surprisingly, there was a wrinkly old man's face before his very eyes. Having been astonished, Yasuke quickly jumped out of bed.

"Whoa! W-who are you!?"

"I'm the Grim Reaper."

"G-Grim Reaper!?"

Even more frightened to hear that, Yasuke was no longer able to stand up.



5

"N-no...I don't want to die now."

"...No, it's not your turn yet. By the way, why don't you team up with me to make some money?"

"Make money? ...What do you mean?"

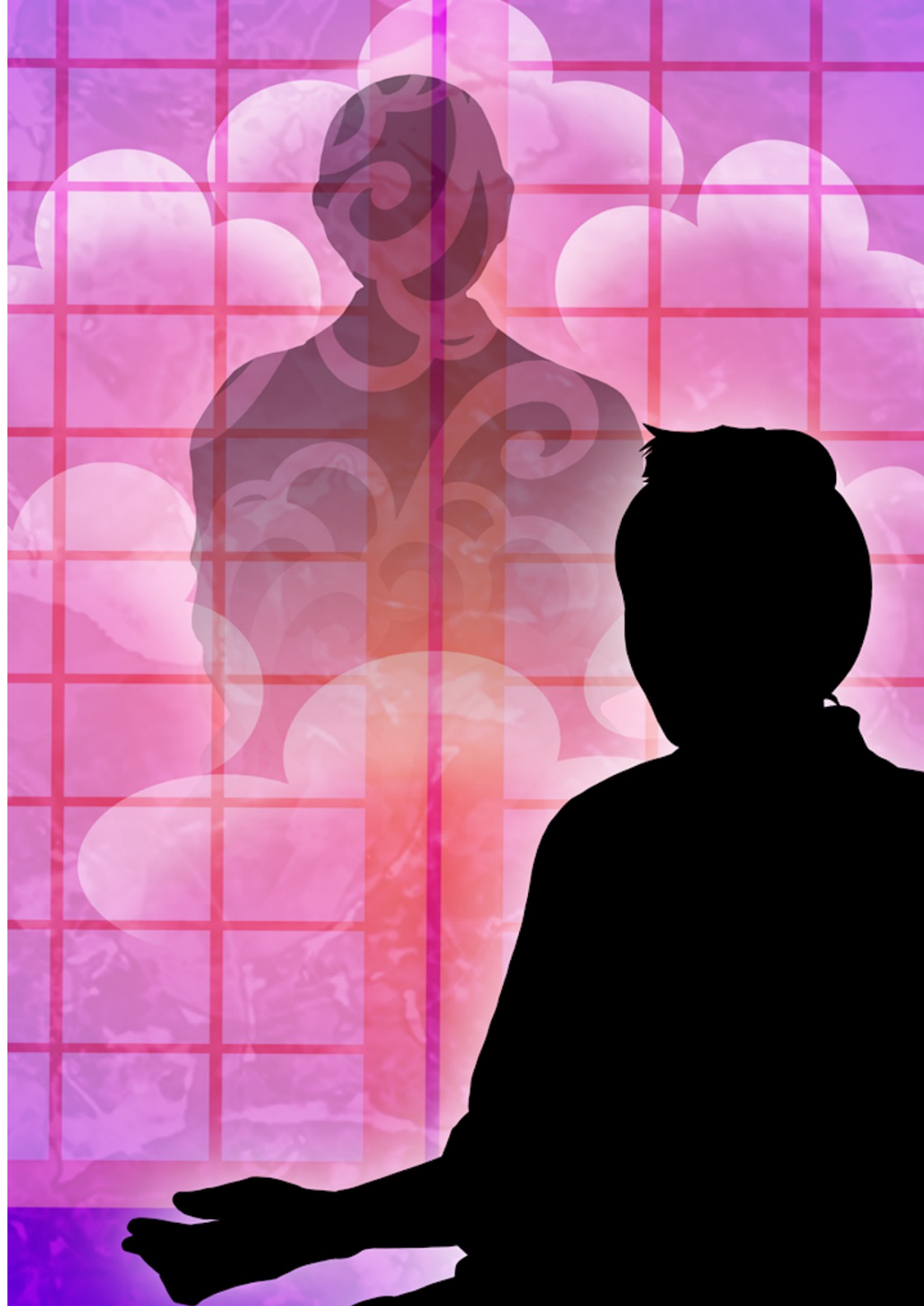
"Listen up, nobody but you can see me. If I sit at a sick person's feet, they have no chance of surviving, but if I sit at the head of a sick person's bed, they will get better for sure."

"Oh, I see. If we know whether their illness will heal or not, we can take advantage of it and make money."

"That's right. You are pretty quick. Alright, for starters, you visit Jirobe in the village early tomorrow morning."

"Alright, leave it to me."

As soon as they were done talking, the Grim Reaper vanished like smoke.





むかし むかし、ある むらに、やすけ という、  
とても びんぼうな おとこが すんでいました。

あるばん、ねどこで やすんでいた やすけの みみに、  
ごそごそと、ひとの はなしごえの ようなものが  
きこえてきました。

「ん?・・・だれだよ、こんな よなかに・・・」

やすけが めを あけると、なんと めのまえに、  
しわだらけの おじいさんの かおが あったのです。  
おどろいた やすけは、ふとんから とびあがりました。

「うわ!な、なんだ あんたは!!」

「おれは『しにがみ』だよ」

「し、しにがみ だと!」

さらにおどろいた やすけは、  
もう たちあがれなくなって しまいました。



「い、いやだ・・おれはまだ しにたくねえよ～」  
「・・いや、まだ おまえさんの ぼんじゃ ないよ。  
それより どうだい。おれと くんで、  
ひとつ かねもうけ してみるきは ないか？」  
「かねもうけ?・・いったい どういうことだ」  
「いいか、おれの すがたは、ほかの やつには みえん。  
おれが びょうにんの『あしもと』に すわったら、  
そいつは もう たすからない。だが、  
おれが びょうにんの『まくらもと』に すわったら、  
そいつの びょうきは かならず よくなる」  
「そ、そうか。びょうきが なおるか なおらないかが  
わかれば、それを りょうして、  
かねもうけができるって わけか」  
「そういうことだ。おまえさん、なかなか あたまのまわる  
やつだな。よし、まず ためしに、あすの あさいちに、  
むらの じろべえの いえに いけ」  
「わかった。おれに まかせてくれ」  
  
はなしが おわると、しにがみは まるで けむりのように  
きえてしまいました。

